

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆政府、予備費529億円の支出決定 能登半島地震・九州豪雨対応で

・政府は2025年度予算の予備費から529億円を支出すると決定。能登半島地震の被災地の復旧・復興のほか、8月に九州で起きた記録的大雨被害の対応に充てる。今回の支出によって予備費の残額は2985億円となる。能登関連では公費解体に伴う災害廃棄物処理に398億円、公共土木施設の復旧に107億円を計上。九州被害では24億円。

◆自動車購入の税廃止、経産省vs総務・国交・環境省 販売増か脱炭素か

・自動車を購入する際にかかる地方税を巡り、各省の意見対立が鮮明に。トランプ米政権の関税措置で打撃を受ける車業界を下支えするため、経済産業省は廃止を訴える。総務省など3省は地方自治体の税収減や脱炭素の逆行を懸念して廃止には慎重。与野党でも意見は割れ、協議は難航が予想される。

◆2025年夏の気温、平年より2.36度高く ダブル高気圧で観測史上最高に

・気象庁は2025年6～8月の国内の平均気温が平年より2.36度高く、過去最高だった23、24年夏を上回ったと発表した。記録的猛暑の要因は日本列島を覆った「ダブル高気圧」。厳しい残暑は9月以降も続く見込みで、引き続き熱中症に警戒するよう呼びかけている。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆卸売業、調達コストの価格転嫁4割どまり 物価高と節約志向板挟み

・日本経済新聞社がまとめた卸売業調査によると、メーカーと小売店の間をつなぐ卸売業者が2024年度に商品の調達コストの上昇分を商品価格に転嫁した割合は4割にとどまった。25年度も商品調達や物流コストが増えるが、小売店舗は商品価格の据え置きを求める。卸売業者はインフレと消費者の節約志向の板挟みにあっている格好。

◆パナソニックの除菌脱臭機「ジアイーノ」復活 消費者の声映し小型化

・除菌脱臭機「ジアイーノ」が販売を伸長。新型コロナウイルス流行による特需後に市場が縮小するなか、2024年に発売した小型モデルが好調。24年度の家庭用の販売台数は23年度から2.4倍に増えた。25年度はさらに3割増を見込む。価格やサイズに対する消費者の要望を丁寧にくみ取る王道の製品開発でヒットにつなげた。

◆7月首都圏新築戸建て、6カ月ぶり下落 23区は上昇傾向に一服感

・不動産情報サービスのアットホームは同社の不動産情報ネットワークで消費者向けに登録・公開された7月の首都圏新築戸建ての価格動向を発表。首都圏全体の平均価格は前月比0.1%減の4807万円と6カ月ぶりに下落した。東京都下、神奈川県(横浜市・川崎市/他)、千葉県西部の4エリアでは2017年1月以降最高額を更新した。

《 注目商品 》

■東芝ライフスタイル、暖房強化型エアコン「あったか大清快」の「DRNUシリーズ」

・暖房強化型エアコン「あったか大清快」の新製品として「DRNUシリーズ」4機種を9月下旬より発売。新開発「AIデフロスト・テクノロジー」を搭載し、最大10.5時間の連続暖房運転が可能。無風感ルーバー」を改良したフラッグシップモデルも10月下旬より発売。



■ABC商会、アクリル系人工大理石洗面カウンターに新型5種類

・アクリル系人工大理石製の洗面カウンターの品揃えを拡充。「アソートカウンター」に3種類の新型を、「バイオマーブルシリーズ」に2種類の新型を追加した。どちらも加工性に優れたアクリル系人工大理石・コーリアンを採用。



■TOTO、造作風洗面化粧台に新アイテム・新色を追加

・洗面ボウル、水栓金具、カウンター、鏡、キャビネットを組み合わせる造作したようなデザインを実現できる洗面化粧台「drena(ドレーナ)」を4年ぶりにモデルチェンジして8月1日発売。洗面台下に新たに「オープンキャビネット」をラインアップ、効率よくモノを出し入れできる。

